

市長賞

私たちの選択

「犯罪がこの世から無くなればいいのに」世界の大多数の人が思っているであろうこと。流れてくるニュースで個人的に犯罪についても考える機会が増えていたそんな時、この作文をかくことになり、自分の経験を元に犯罪や非行をした人の立ち直りについて改めて考えてみることにした。私も、自分の中では大きな過ちを犯してしまった事があったからだ。その過ちのせいで私は重く苦しむことになり、そのとき多くのものを失ってしまった。

皆さんは犯罪や非行をした人を、怖い、関わりたくないと思うだろうか。それはやってしまったことの大きさにもよるが、大きい小さいに関わらず、大多数の人がそういった感情を抱くだろう。私が過ちを犯してしまったときも、一部の人から避けられ、これまで築いてきた友情関係などが崩れてしまった。一度でも壊れてしまったものは、絶対に元に戻すことは出来ないということを痛いほど分かった。少し時間が経つと、すぐ後悔し、本当に反省した。でももう遅く、どうすればいいかわからず追い詰められて、その時期私は人間関係にひどく悩み、一人で抱え込んでし

堺市立 原山ひかり小学校 六年

道古 楓花

まっていた。家族にも話す事ができなかった。勇気が出なかったこともあるが、何より、元々悪いのは私だったからだ。元は自分のせいなのに、助けを求めていいのか、苦しいと声を上げていいのか、泣いていいのか、分からなかった。周りから見ればくだらない小さいことかもしれないけれど、あの時の私に見えていた小さな世界の中ではすごく大きなことだったのだ。実際に私の学校生活にも大きな影響を及ぼした。

「何か悩んでいる事があったら言ってね」両親に何回もかけられた言葉。心配をかけてしまっているな、と申し訳なくなってしまうていた。このことを母親に話す事ができたのは最近のことだった。頷きながら最後まで話を聞いてくれて、話が終わった後、「それはやっちゃいけないことだったけど、大切なのは、今自分がどう思っているかだよ。反省してるんでしょう？変わろうと努力していれば、周りの人もきつとわかってくれるから。」そう言ってくれた。心の中にかかっていたモヤがすうっと晴れた気がした。勇気を出してよかった、聞いてくれる人がいてよかつ

た、その時すごく安心して、やっぱり、誰かに話すべきなんだ。そう思った。

「ちゃんと嫌って言っていると思う。」

六年生の時、私が友達にかけた言葉だった。その友達は周りの人たちから、昔にやってしまったことのせいで少しイヤなあだ名をつけられていて、その子は笑ってやり過ごしていたけど、私の目には無理して笑っているようにしか見えなかった。だから私は恐る恐るその子に言ってみた。「…間違ってたらごめんだけど、嫌なんだったら、ちゃんと嫌って言うてもいいと思うよ。勇気が出ないなら、話聞くから」

するとその友達は、少し話をしてくれた。「話聞いてくれてありがとう。なんか勇気出たかも、ほんとありがとう！」と元気に笑いかけてくれたその瞬間、自分のことを思い出した。話を聞いてもらえることはやっぱり安心するんだなと、もう一度思った。その時、声をかけるのはすごく緊張したけど、この一言で少しでも救われてくれるなら、何度でも声をかけ続けたいなと自分は思った。

これらの経験から、犯罪や非行をした人が立ち直るために必要なのは、「話を聞いてくれる人」「受け入れてくれる環境」なんじゃないかと思った。犯罪や非行をしてしまった人がどれだけ後悔し、反省していて、変わろうと努力していても、周りの人達が突

き放してばかりだと変わりたくても変わることは絶対にできない。私達周りの人の対応で犯罪や非行をした人が変わる事ができるかが決まるのだ。罪を犯した人の中にも、やり直したい、反省している、という人はたくさんいるだろう。それでやってしまったことが許されるわけでは決してないが、その気持ちがあるなら、私たちは受け入れ、支えていくべきだと私は思う。本当に反省している人とそうでない人の区別をつけるのは難しいが、その人の過去を見て突き放すのではなく、一度、その人の「今」を見て欲しい。私達がどう対応するか、どんな言葉をかけるかによって、その人の未来が大きく変わると私は思う。犯罪や非行をした人を許して欲しいとは言わないが、その人をしっかり見て欲しい。偏見ではなく、その人の今の気持ちに寄り添い声を聴いてあげて欲しい。綺麗事は言えないが、私はこの考えをずっと抱えて生きていく。

犯罪や非行をした人を軽蔑し、批判し続けるのか、犯罪や非行をした人の声に耳を傾け、やり直そうとしている人を支えてゆくのか、皆さんなら、どの選択をしますか？

